

No.2416 権現岳（八ヶ岳）

平成26年5月30日（金）夜～6月1日（日） 晴れ
参加者：岡本(L) 鳴原 右田（記）



5/30(金)

20時30分に鳴原さんに阪急池田駅に車で迎えに来てもらい、岡本さんの家に向かう。岡本車に荷物を積み替え、22時頃出発。名神が夜間工事で通行止めのため西名阪から中央道のルートで向かう。

5/31(土) 権現岳登頂

3時頃、天女山の駐車場に到着。車が1台止まっている。早速テントを設営し、仮眠。岡本さんは運転で疲れているので即熟睡。鳴原さんと二人で寝酒を飲む。テントの外が少し明るくなってきたので、各自朝食を取り、5時20分に出発。日帰りコースなので荷物が軽い。

このコースは岡本さんのお気に入りのコースのようで、何回か登っているとのこと。確かに尾根通しで見通しが利き、快適な登りだ。いや快適な登りのはずだが、今日は息が上がり体が重い。寝不足のせいだ。先頭の岡本さんとの距離が開いていく。あえぎながら登りようやく三ツ頭のピークに立つ。権現岳と赤岳のピークが望める。さらに40分ほど尾根をつめると岩の積み重なった狭いピークの権現岳に到着。前回、5月に観音平から編笠山経由で登って以来2回目の登頂だ。目の前のピーク「ギボシ」に行くというので、しんどいがしかたなくついて行く。途中、赤岳への縦走路の分岐があり、そこから少し下ったところに権現小屋がある。ギボシのピークから景色を堪能し、引き返す。まだ、10時だが、天気が良過ぎて暑くなりそうなので、早めに下山することに。登ってきたルートを引き返す。途中で雪道を整備しているグループあり。ご苦労さまと声をかけ、下る。下りも結構長い。こんなに歩いてきたかなと思うぐらい。それでもミツバツツジの花や新緑を楽しみながら歩くのは楽しい。頂上から2時間ちょっとで駐車場に到着。時間があるので、清里に向かう。岡本さんおすすめのソフトクリームを足湯に浸かりながら食する。周りは観光客ばかりで違和感があるが気にしない。「僕らが足湯に入ると後誰も入らんやろな。」「そらそうやで」でも子供が何が気になるのかこちらをちらちら見る。足湯から出て帰りかけると、早速、子供づれの家族が足湯に入っていた。このあと、夕食の買出しに近くの地元スーパーに行く。定番の鍋にすることにして、材料を買う。私はどうも食欲がない。白菜や肉の量が多いのではと試してみるが、結局そのまま買うことに。勿論ビールも買い込んで今日のテント場の深田記念公園へ向かう。3時頃なので、まだ登山客の車が結構止まっている。テントを張るには早いので、木陰にシートを敷いて鳴原さん持参の枝豆をアテにビールで乾杯。冷えたビールが旨い。東京からの登山客がうらやましそうに通過ぎていく。

その後、少し昼寝をして、誰もいなくなったところでテントを設営。外で鍋をすることに。

味付けをして牛肉を放り込むと俄然食欲が沸いてきた。鍋を2回して締めうどんまでぺろり。お二人から若干非難の声あり。早々に就寝。

6/1(日) 深田久弥終焉の地「茅ヶ岳」と「金ヶ岳」登頂

4時前に全員一斉に起床。皆さん快適に寝られたようだ。岡本さんは持参の朝食。鳴原さんと私はパックライスに夕べの鍋の残りをかけて牛丼もどきの朝食。旨い。今日も天気が良いので早朝出発に。ひんやりした空気が気持ちいい。3人とも熟睡したので快調に登って行く。先行組みを追い抜き、女岩に着くが岩が崩れていて立ち入り禁止。尾根に繋がる急斜面を登り詰めると、深田久弥終焉の地の碑があった。計画書のみて事前に調べて知ったが茅ヶ岳は日本百名山の深田久弥が登った最後の山だ

ったのだ。百名山を達成した人が結構登りに来ているようだ。ここから少し登ると茅ヶ岳の頂上に達する。頂上からは富士山の眺めが素晴らしい。また、南アルプスの甲斐駒・鳳凰三山、金峰山も望める。本当に眺望のいいところだ。眺望を楽しんだところで次の金ヶ岳へ向かう。一旦下って登り返さないといけないので、金ヶ岳まで行く人は少ないようだが、途中、イワカガミが咲いていたり、石門があったりと楽しませてくれる。なんといっても尾根を吹き抜ける風が最高に心地よい。50分ほどで金ヶ岳の頂上。誰もいない。こちらからも茅ヶ岳同様、富士山や南アルプスなどの眺めがよい。しばし、休憩し、茅ヶ岳へ引き返す。9時前ということで茅ヶ岳頂上も数名しかいない。そろそろ暑くなるので下りにかかる。登りと違う尾根ルートを快調に下る。1時間ほどで駐車場到着。登山靴を脱ぎ、岡本さんが下調べしていた穴山温泉に行くことにする。到着してみると穴山温泉「能見荘」は、なんと深田久弥が茅ヶ岳登山の前日に泊まった宿であった。3人だけの贅沢な温泉に入り、風呂上がりには日本庭園の見える広い座敷でビールとノンアルで乾杯。来しなと同じルートで大和高田を經由し、嶋原さんに石橋まで送ってもらい、20時前に帰宅できた。権現岳は予想どおりのいいルートであったし、茅ヶ岳・金ヶ岳は予想以上に楽しめる山だった。今回のようなベースキャンプ方式であれば、六甲山ハイキングと変わらないし、会の合宿によいのではないだろうか。岡本さん、往復の運転ありがとうございました。



権現岳から八ヶ岳の主峰赤岳を望む



茅ヶ岳の深田久弥終焉の地



金ヶ岳への縦走路に咲くイワカガミ